



2 0 1 9 年 1 2 月 1 2 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

京 都 府 と 交 通 政 策 に つ い て 意 見 交 換 梶 原 京 都 府 議 が 議 会 発 言 に つ な げ る !

11月28日、JR連合及びJR西労組中央本部・京都地本・福知山地本は、梶原英樹京都府議の協力のもと、京都府交通政策担当者との意見交換を実施した。梶原府議は今年の地方統一選挙において、JR西労組の現役組合員として見事に当選を果たし、京都府議会議員として奮闘している。梶原府議も出席し、12月議会での発言につなげるべく、京都府の展開する交通政策や府内の交通政策課題について意見を交わした。



なお、京都府は、地域公共交通網形成計画として、JR山陰本線沿線、JR関西本線沿線、北近畿タンゴ鉄道沿線地域のそれぞれの計画を策定するなど、交通政策に対して積極的に取り組んでいる自治体である。

当日は、JR連合の中村交通政策部長から、「『チーム地域共創』をつくる9提言」を説明し、京都府交通政策担当者からは、府内の鉄道を中心に、交通政策の取り組みについて説明を受けた。意見交換では、観光戦略と交通との連携や鉄道とバスなどのモード間の連携、人口減少が進む北部などにおける地域公共交通の維持活性化にむけた取り組みなどについて議論した。とりわけ、福知山地本からは獣害被害として、クマの出没時の対応が隣接する自治体と違いがあることを訴え、部署間をまたぐ対応の必要性が共有化された。

そして、12月9日、京都府議会において、梶原府議が一般質問に立ち、広域観光にむけた基盤整備を訴え、JRをはじめとする公共交通の活用について提案した。発言に際しては、JR西労組組合員も多数傍聴に駆け付け、エールを送った。

JR連合は、引き続き、地方議員団連絡会所属議員との連携を深め、JR産業の持続的な発展に資する政策提言の展開に取り組んでいく。